

削除した種

2012年版番号	種和名	2012年版ランク	削除理由
37	アキアカネ	要注目種	豊岡市を中心にコウノトリの野生復帰事業において水田生態系の回復が見られ、それにもよって個体数が著しく増加した。
38	ヒメアカネ	要注目種	各生息地における個体数はあまり多くないものの、新しい生息地の発見もあり、特にRDBに掲載する理由が見つからなくなった。
50	ヒナカマキリ	Cランク	分布は偏っているが減少傾向はなく、生息地消滅の危機性はない。
52	ヒメカマキリ	要注目種	生息地の環境は普遍的な雑木林等で、各地から情報がある。
53	クチキコオロギ	Cランク	照葉樹林内の倒木や樹洞に生息する種で、分布は偏っているが、生息環境はむしろ拡大している。
54	ヒメコオロギ	要調査種	情報が集まらなかった。引き続き調査しても情報が得にくい。生息環境は河川敷や林床で、生息の要件がよくわからない。
56	ヒゲシロスズ	要注目種	情報が集まらなかった。引き続き調査しても情報が得にくい。生息環境は河川敷や林床で、生息の要件がよくわからない。
57	スズムシ	Bランク	各地から生息情報が得られた。飼育個体逸出の可能性もあるが、都市近郊にも生息しており、必ずしも良好な環境を指標するものではない。
58	カヤコオロギ	Cランク	近年の調査で、各地に生息することが判明。造成地などにも生息し、耕作放棄などで生息適地は増えている。
59	アシジマカネタタキ	Cランク	暖地の照葉樹林に生息する種であり、生息環境消失の恐れはない。淡路島には普遍的に分布している。鳴き声での確認ができず発見が困難。
63	コバネササキリ	要注目種	湿性草原に依存する。小型ですばやく動き鳴き声が微小なため発見されにくい。近年の調査で各地に生息していることが判明した。
64	カヤキリ	要注目種	各地に見られることが判明。ススキ草原に多く見られ、耕作放棄などで生息適地はむしろ増えている。
65	ハタケノウマオイ	要調査種	暖地性の種で、県内では分布が限られ、クツワムシより狭い。淡路市、丹波市にまとまって生息している。生息適地の環境悪化の恐れはない。
68	ヤスマツトビナナフシ	要注目種	トビナナフシ類はもともと個体数が多くなく、発見が困難である。生息環境は一般的な雑木林で、環境指標性に乏しく、また環境消滅の恐れもない。
69	シラキトビナナフシ	要注目種	トビナナフシ類はもともと個体数が多くなく、発見が困難である。本種は冷温帯に生息するが生息環境は一般的な落葉樹林で、特に原生的な環境に依存するわけでもない。環境消滅の恐れもない。
71	ヒメハルゼミ	要注目種	播磨地域のほか、淡路島には広く分布し個体数も多い。環境は安定している。
87	ツノアカツノカメムシ	要調査種	ほとんど情報が得られず、今後見られる見込みがない。もともと個体数の多くない種であると思われる。
97	アキオサムシ	要注目種	その後の調査で新たな生息地が見つかった。生息環境は広く存在し、個体数減少の情報はない。
144	キョウトアオハナムグリ	要注目種	やや局所的ながら比較的安定して見られる。
145	クロカナブン	Cランク	少ないながら比較的安定して見られる。
148	ホソヨコミゾドロムシ	Cランク	その後の研究でヨコミゾドロムシの長翅型であることがわかった。
165	ジュウサンホシテントウ	要注目種	河川中下流域やため池、水田周辺で比較的安定して見られる。
166	ジュウクホシテントウ	要注目種	河川中下流域やため池、水田周辺で比較的安定して見られる。
167	ハラグロオオテントウ	要注目種	その後の調査では少ないながら比較的安定して見られる。
168	フトヒメツノゴミムシダマシ	要調査種	各地で増加している。
180	クワカミキリ	要調査種	その後の調査では比較的多くの場所で確認されている。
198	ハマダラハルカ	要調査種	出現期が短い発見されにくい。各地で見られる。
210	スギタニマドガ	Cランク	希少種ではあるが生活史等不明な点が多いため削除。
211	アカヘリオオキノメイガ	要調査種	南方系の種で南あわじ市から記録があるが、その後確認されておらず、飛来個体がそれに基づく一時的な発生であった可能性もあるため削除。
252	マエモンシロスジアオジャク	要調査種	近縁種との同定がやや困難であり、優れた環境の指標種(暖帯林)であるが種類数を整理するため削除。
255	ウスマダラカレハ	要注目種	優れた環境の指標種(山地樹林)であるが種類数を整理するため削除。
256	クロウスタビガ	要注目種	優れた環境の指標種(山地樹林)であるが種類数を整理するため削除。
257	オオシモフリズメ	Cランク	調査の結果、県内に普遍的に分布しており、個体数も減っていないため削除する。
260	アマギシャチホコ	要注目種	優れた環境の指標種(山地樹林)であるが種類数を整理するため削除。
262	ヤクシマドクガ	要調査種	優れた環境の指標種(平地雑木林)であるが種類数を整理するため削除。
265	ハマオモトヨトウ	要調査種	主たる食餌植物のハマオモトは県南の海岸地帯などに局地的に産するが、近縁の園芸作物も食草になり得るため、RDBの対象種として適当でなく削除する
266	カギモンキリガ	要調査種	優れた環境の指標種(平地雑木林)となりうるが種類数を整理するため削除。
268	ウスベニキリガ	要調査種	優れた環境の指標種(平地雑木林)となりうるが種類数を整理するため削除。
269	イチゴキリガ	Cランク	多食性で、栽培作物でも繁殖し、かつ個体数が減っているとはいえないため削除。
272	ホソバオビキリガ	要調査種	確認例は少ないが、近縁種との区別がつきにくく野外での同定が困難である(展翅標本にしないと同定困難)ため削除。
273	アヤモクメキリガ	要調査種	多食性で、栽培作物でも繁殖し、かつ個体数が減っているとはいえないため削除。
279	ヨシノクルマコヤガ	要調査種	暖地性の蛾で産地は限られ個体数は少ないが、近縁種との区別がつきにくく野外での同定が困難である(展翅標本にしないと同定困難)ため削除。
285	コシロシタバ	Cランク	調査の結果普遍的に分布、個体数も減っていないため削除。
286	アサマキシタバ	要注目種	調査の結果普遍的に分布、個体数も減っていないため削除。
288	アミメキシタバ	Cランク	優れた環境の指標種(平地雑木林)であるが種類数を整理するため削除。
292	マイコトラガ	Cランク	調査の結果普遍的に分布しており、個体数も減っていないため削除。